

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	744,449,178
負債 (b)	663,744,835
基本金 (c)	124,051,930
国庫補助金等特別積立金 (d)	190,299,231
合計 (a-b-c-d)	-233,646,818

- 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	696,816,872
--------	-------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	15,434,812
1年以内返済予定リース債務	660,960
設備資金借入金	538,744,049
リース債務	330,480
合計 (b)	555,170,301

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	696,816,872
対応負債合計 (b)	555,170,301
対応基本金 (c)	124,051,930
国庫補助金等特別積立金 (d)	190,299,231
合計 (a-b-c-d)	0

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (少数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				自己資金比率			合計額		
						①建設工事費 デフレター	②1㎡当たり単価上昇率		①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率				
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得単価 (b)			建設時延べ床 面積 (c)	a/ (b/c)		建設時自己資金 (d)	d/b
建物	2015		20,189,308		111,427,234	1.002	250,000	782,189,308	-	1.002	22%	20,189,308	2.6%	22.0%	24,563,019
							250,000				22%			22.0%	
							250,000				22%			22.0%	
							250,000				22%			22.0%	
合計															24,563,019

※ 割合は小数点第4位四捨五入。  
※ 行が不足する場合は適宜追加すること。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	25,730,930
----	------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	24,563,019
大規模修繕に必要な費用	28,666,140
設備・車輛等の更新に必要な費用	25,730,930
合計	78,960,089

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( (a×b) × c/ (a+c) )	
111,427,234	30%	-	-	670,762,074	28,666,140	28,666,140
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
合計						28,666,140

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	225,360,054	12	3	56,340,013

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	225,360,054	12	12	225,360,054

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計
活用可能な財産	(233,646,818)	225,360,054
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	0	
再取得に必要な財産		
必要な運転資金		
計算の特例	225,360,054	
合計	(459,000,000)	